



松浦正敬市長の前で協定書を交換し、握手を交わす
渡瀬信之学長（右）と鶴鶴修一会長（左） 〓松江市
末次町、市役所応接室

神戸夙川学院大学 松江観光協会

観光振興へ相互交流

パートナーシップ締結

観光文化都市の神戸市で観光文化を教える神戸夙川（しゅくがわ）学院大学と、松江観光協会が十日、松江市役所で、「観光振興に関するパートナーシップ協定」を締結する調印式を行った。

調印式は、松浦正敬松江市長の立ち会ひの下で、松江観光協会の鶴鶴修一会長と、神戸夙川学院大の渡瀬信之学長が協定書を交わした。両者とも同様の協定を結ぶのは今回が初めて。

協定の具体的な内容はこれから調整するが、観光協会の側は、二百八人が在籍する同大観光文化学部や、協会スタッフによる出前授業を検討している。鶴鶴会長は「春休みに向けて何らかの交流を検討したい」と話した。

「人と文化と自然の共生を推進するエンジンとしての観光」を理念とする大学側は、松江のシニア世代の市民を短期講習で受け入れ、大学で学んだ知識を地元でのボランティア活動に役立ててもらうなど松江の地域活性化に協力したい考え。

協定締結は、昨年四月に開校した同大の関係者が松江市立女子高に生徒募集に訪れたり、市教委を訪問したりする中で打診し、合意に至った。同大と女子高国際文化観光科との交流も図られる。